

孤立ゼロプロジェクト 調査実施町会・自治会が



おかげさまで 300 団体突破!!



実施率 76%!!

(平成27年7月末現在)
ご協力ありがとうございます!



開始団体、ますます増えてます

平成27年7月末現在、区内437町会・自治会のうち336の町会・自治会から孤立ゼロプロジェクト開始のお申出をいただき(実施率76.89%)、調査を実施しています。

調査の結果、7月末現在で2,480世帯、2,982人の方が孤立のおそれがあると判断されました。そのうち地域包括支援センターによる確認訪問の結果、約4割の方は孤立のおそれはない

と判断。それ以外の約6割の方については、引き続き実態を確認したり、介護保険サービスの利用につなげたりしています。

『絆のあんしん協力員』による定期訪問の対象になっている方は、足立区全域で98世帯とまだ少ないですが、調査が進むにつれ、より多くの方への支援が必要になってきます。地域包括支援センターから、定期訪問に関する依頼があった際には、ご協力よろしくお願いいいたします。

各地で活躍する

今回の担当は… **北部ブロック!**
(保木間・一ツ家・伊興・はなはた・六月)



絆のあんしん協力員&協力機関

今回は地域包括支援センター**北部ブロック**で活動している「絆のあんしん協力員」(以下、「協力員」)さんや協力機関をご紹介します!

日々見守ってます! 「ひまわり会」

東保木間町会「ひまわり会」
地域包括支援センター保木間

東保木間町会では、「孤立ゼロプロジェクト」への協力をきっかけに地域の見守りについて、「さらに一步踏み込んで、正式な組織を結成しよう」と複数の役員から声があがり、役員全員一致で見守りのための組織「ひまわり会」を結成しました。「ひまわり会」では寄り添い支援活動を行い、3ヶ月に一回連絡会を開いて、各メンバーの活動報告と活発な意見交換などを行い、情報を共有しています。



協力員による訪問の様子

新たな
取り組み、
はじまっ
ています!!



「ひまわり会」の連絡会風景



東保木間町会では、「どこに誰が住んでいるか知っていることで、何かの時に助け合える」と考えています。

「今は大丈夫」と思っている、災害時など何かあった時にみんなで助け合えるためには日ごろから顔の見える関係であることが必要です。

今後は高齢者だけでなく、子どもや若い人も含めた見守り体制を目指し、一層地域の見守りに力を入れていきます!



「ひまわり会」の皆さん

ボランティアは若さのエネルギー!!

「協力員」の鈴木さんは、地域包括支援センターから依頼された2件のご家庭のゴミ出しボランティアを担っています。

ゴミ出しボランティアについては地域包括支援センターから依頼される以前から、自発的に行っていました。

ボランティアを担って、「大変だと思ったことはない。むしろ、いろいろな事を学ばせていただいて『ありがたい』と『思っている』とのことです。「協力員」になった理由も、「学ばせていただきたいという心」がきっかけだそうです。

絆のあんしん協力員 鈴木さん

地域包括支援センターツツ家

「このようにいろいろな方々と交流し、地域に根ざしたボランティアをすることで、いろいろなことが学べ、将来自分がお世話になる立場になった時の糧になる。なにより、**ボランティアは私の若さのエネルギーなのよ**」と、晴れやかな笑顔でおっしゃっていました。



「絆のあんしん協力員」鈴木さん

「出会った人を大切に」がモットーです

◆絆のあんしん協力員 渡部さん

地域包括支援センター伊興

「協力員」として27年5月に登録されたばかりの渡部さん。協力員になる前から足立区社会福祉協議会のあったかサービス協力員としても活躍されています。

Q1:「協力員」になったきっかけは？

A1: ご近所でも何かしらの援助が必要となってきた方が増えてきました。**困っている高齢者が目の前にいるのを見て見ぬふりは私にはできません!**

「協力員」の登録証があることで、地域の方との関わりが持ちやすくなり、困っている方へ手を差し伸べやすくなると思い登録しました。

Q2:「協力員」としてどのような活動をしていますか？

A2: 定期的に気になる方のお宅へ訪問し、体調に変化がないかなど確認しています。その他、地域の方々に積極的に声を掛け、気になった方々には「協力員」の**訪問カード**を手渡し、地域包括支援センターへ相談に行くように促しています。私は「**出会った人を大切に**」を**モットー**としてこれからも地域の力になれたらと思っています!



「絆のあんしん協力員」

渡部さん



「協力員」の訪問カード

地域の居場所 サロンのご紹介

第3回「絆はなはた」



「絆はなはた」は、地域で引きこもり傾向にある高齢者の「集いの場所」を作りたいと考え、「花畑地域学習センター」と「地域包括支援センターはなはた」が共催。テーマも決めず、話したいことを話して気分転換ができる、そんな居場所を目指し、平成24年10月より始めました。

毎週水曜の14時から15時まで、花畑地域学習センターの教養室で、時間と場所はいつも同じ、誰でも参加できる居場所です。

現在参加者は4名から5名程度。準備等も参加者と職員が行い、皆さんでお茶菓子を持ち寄り、お話を中心に楽しんでいます。

参加者に、ご自身にとって「絆はなはた」はどんな存在か伺ったところ、「ここはお話を聞いてもらえる場所。悩みの相談所のようなもの。」

「週一回行って話しができる場所があるというだけで気持ちが明るくなる。」と話していただきました。



「絆はなはた」ご参加の皆様

お問い合わせ

地域包括支援センターはなはた

電話：3883-0048

花畑地域学習センター

電話：3850-2618

お知らせ

まだまだ暑い日が続きます

夏は水分!!

思いあたることはありませんか？



部屋の中だから大丈夫？

熱中症の約4割は
住居内で、約1割は夜間に
起こっています！



水分？のどが潤いてないし...

高齢になると、のどの渇きを
感じにくくなります！



エアコンはキライ!!

高齢になると、
暑さを感じにくくなります！

熱中症予防には水分補給!!